



# タウンサポーター

【発行】下都賀教育事務所 ふれあい学習課 栃木市神田町6-6 0282-23-3422 E-mail: shimotuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp



## 下都賀地区家庭教育支援プログラムフォローアップ研修

8月10日(水)、栃木市国府公民館を会場に標題研修会を実施しました。子どもたちの健やかな成長と笑顔のためには、まず保護者自身の育ちと笑顔を社会として応援していくことが重要です。そこで、保護者の笑顔と元気、そして子育てを楽しもうとする前向きな気持ちを応援するため、保護者一人一人が日頃の子育てを振り返り、これまでの子育て経験の中から、目には見ることができない小さな幸せを感じ取れるような学習プログラムについてグループワークを通して考えました。

子どもが誕生した時の喜びを感じ取れるプログラム、親である自分の頑張りに気づき親自身の自己肯定感を高めるプログラム、親子のふれあいの心地よさと大切さを感じ取れるプログラムなど、いろいろなアイデアが詰まったプログラムがたくさん提案されました。今後、様々な場所と機会で行っていただいていたプログラムが、保護者の笑顔のために展開されることでしょう。



## 地域をつなぐふれあい学習

### ふれ合い学習で得られるもの 小山市家庭教育支援チーム「かざぐるま」

小山市家庭教育支援チーム「かざぐるま」は、ふれ合い学習(ワークショップ)を通して保護者の皆様と一緒に子育てについて学習する場を提供してきました。しかし、コロナ禍で人と人とのふれ合いの場を失ってしまいました。

月に一度の研修会の中で、今までの活動を振り返り、過去に実施した「親学習プログラム」の参加者のアンケートを見直してみると、保護者の皆様にとってご自身の子どもへの向き合い方や子どもの気持ちを考える大切な「気づき」の時間であった、ということを感じました。プログラムの内容に否定的な考えの方もいますが、誰もがいろいろな思いを抱えて子育て

をしています。私達は、親になくなっていくということや親と子の絆を深め育ち合う、健全な子育てを応援しています。子どもも親も幸せな世の中を願っています。



### 来入児保護者対象子育て講座「心の声、届いていますか?」 ～オピニオンリーダー会のお借りにして～ 栃木市

子育ては大変。でも、子どもを育てる幸せを実感してほしい。

多くの保護者にそのような思いをもていただこうと来入児保護者対象子育て講座を実施しています。

そこで頼りになるのがオピニオンリーダー会の皆さん。本市には6つのオピニオンリーダー会があり、それぞれが長年に渡り地域に寄り添った活動をしています。

今年度も各オピニオンリーダー会が講座開催に向け時間をかけてプログラムを吟味し、参加者の心が温まる講座を開いてくださっています。本当にありがたいことです。

参加された保護者からは、「親同士で子育ての体験を伝え合ったことで、元気が出た。」「子育てを見つめ直すことができました。」といった感想をいただいています。

オピニオンリーダー会のお借りをしながら、子どもを育てる幸福感を広められたらと思います。



### もうすぐ人権週間です

第二次世界大戦後の世界平和を実現するため、1948年の国連総会において「世界人権宣言」が採択されました。これを記念し、日本では12月4日から10日までを『人権週間』と定めています。人権とは、全ての人が幸福な生活を営むために欠かすことのできない大切な権利です。この機会に、改めて様々な人権問題について考え、自分自身を見つめ直すことができます。

下都賀地区視聴覚ライブラリー(略称 下視ラ:栃木図書館内《0282-22-3542》)には「人権に関する視聴覚教材」が所蔵されています。下都賀地区の方であればどなたでも無料で借りることができます。また、所蔵目録がネットでご覧になれます。授業・職員研修・講座等でぜひご活用ください。

検索とちぎレインボーネット→栃木県視聴覚教育連盟  
→下都賀地区視聴覚ライブラリー

### ～地域学校協働活動の推進～

これまで学校では、地域の方々との協力のもと、様々な教育活動が行われることで、たくさんの成果が上げられてきました。今後さらに地域学校協働活動をもとに、地域が活性化するためには、地域から学校への一方関係だけではなく、「地域と学校がパートナーシップに基づき双方向の関係になること」が大切です。コロナ禍の中、なかなか学校から地域へ出向くような活動は難しいかもしれませんが、そのような中でもアイデアを工夫して活動を行っている学校がありますので、ご紹介させていただきます。

- ・地域の高齢者施設へのビデオレター
- ・児童生徒が作成した地域イベントのチラシの配布
- ・児童生徒の作品を公民館で展示
- ・美術部などによる社会教育施設の壁面飾り

このような活動は、教育行政だけではなく、いろいろな関係機関との連携が必要です。小さなことでも子どものため、教育活動の充実のために進めていきましょう。



「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の向上を目指します。